

箕輪町 議会だより

みんなのぎかい

Minowa Town Assembly News

第94号

2025.11.1

令和6年度 決算特集

収支からみる私の町の一年…P2～5

～そのお金で町がどう変わったか～

議員の視点で
決算を斬る！

「そば処 古田の里」のそば打ち

CONTENTS

- 9月定例会で決まったこと…………… P6・7
- 審査のなかみ…………… P8・9
- 特集** 区長会と意見交換会…………… P10
- 特集** 区と常会～自治は成り立つのか～ …… P11
- みのわまちのいいところ…………… P12
- 町政のここが聞きたい！
一般質問…………… P13～22
- 議会活動日誌…………… P22・23
- 町の声…………… P23
- 自治のチカラ…………… P24



議会ホームページ

▶ 一般質問の様子を動画で！

各議員の二次元コードを読み取ると動画を視聴できます。

9月定例会で、令和6年度の決算を議会が認定・可決しました。

令和6年度決算 収支バランスは良好に推移

認定

決算とは、予算を執行した結果を示す「成果報告書」です。議会は町民に代わって、予算が正しく使われたか、暮らしや経済に効果があったかを審査します。

一般会計決算額

歳入 132億5,093万円(前年度比98.5%)

歳出 126億3,353万円(前年度比99.4%)

繰越財源 3億594万円 実質収支 3億1,144万円

▶歳入の特徴

個人町民税 12億6,587万円(7.4%減)→定額減税の影響

法人町民税 2億7,518万円(4.2%減)→物価高騰や世界情勢の影響

実質収支額と比率の推移

令和4年度
約9億円 12.7%

令和5年度
約4億円 5.6%

令和6年度
約3億円 4.3%

実質収支比率は、望ましいとされる3~5%の範囲内。収支バランスがとれていると評価する。



未来のための借金

町債 11億3,322万円

(前年度比104% 4,312万円増)

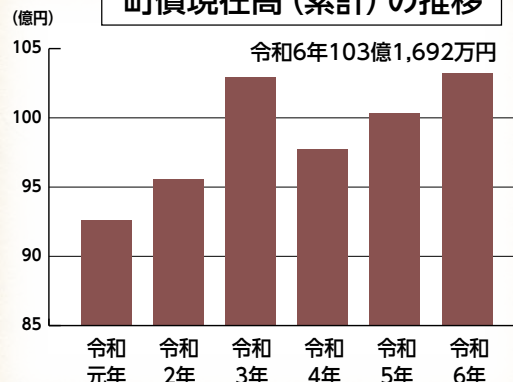
主な要因は、ゼロカーボン事業、文化センター中央監視盤と空調改修、道路・河川等整備。税収や財政状況を踏まえ、無理のない返済計画が立てられているか注視する。



ことば解説 町債(地方債)とは?

未来に残る町の借金。
町の財政力に応じた未来への投資。

町債現在高(累計)の推移



町の財政状況

項目 〔ひと言でいえば〕	令和5年度		令和6年度	
	数値	県内58町村中	数値	県内58町村中
財政力指数 〔財政力〕 町の財政の体力度。指数が高いほど財政に余裕がある。	0.56	4位	0.56	3位
経常収支比率 〔弾力性〕 町の財政の柔軟性。低ければ低いほどよい。	85.9%	44位	88.9%	48位
実質公債費比率 〔借金返済割合〕 町の借金返済額の割合。	8.2%	40位	9.0%	46位
将来負担比率 〔財政圧迫度〕 収入に対し将来、町が負担する借金などの割合。	30.1%	53位	36.4%	県で集計中

※数値は9月30日時点の速報値であり、今後変更になることがあります。

議員の視点

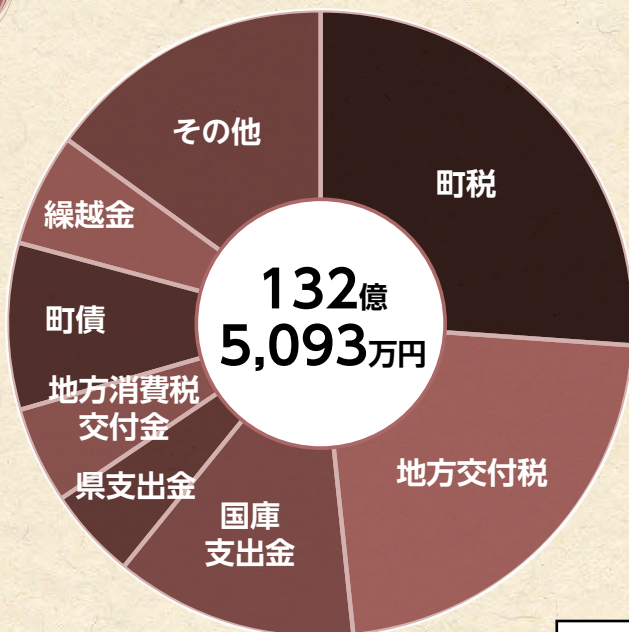


「未来を見据えた財政の舵取りを」

町の財政は一見安定しているものの、人口減少による税収減や公共施設更新に伴う将来負担がじわりと迫っていると感じる。議会は10年先を見通す財政シミュレーションの公表を求めた。施策の優先順位の明確化が必要。限られた財源をどう配分するか、議会としても財政運営を検証していく。

歳入

町のお金はどこからきたの？



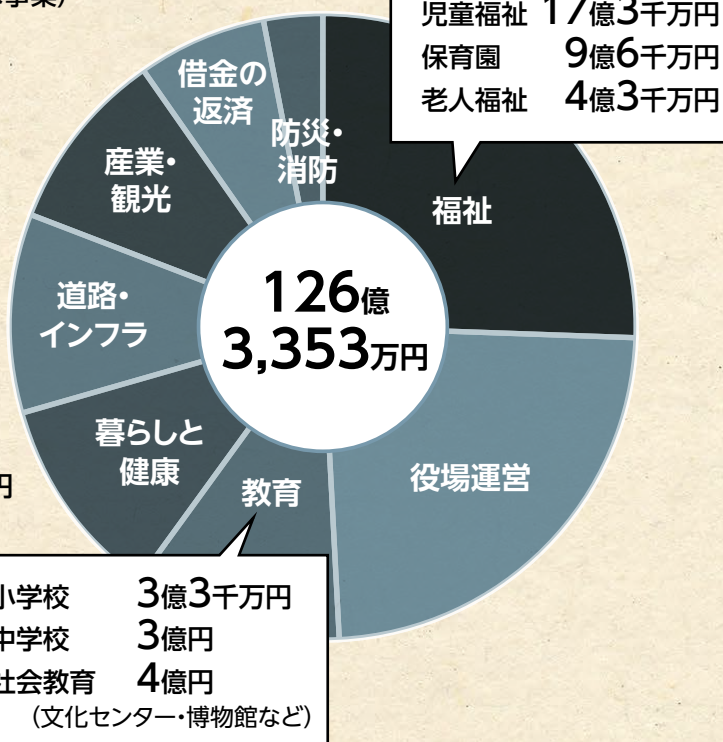
- ▶ **町税** 34億7千万円
町民の皆さんからの税金
- ▶ **地方交付税** 29億6千万円
国からの支援金
- ▶ **国庫支出金** 16億5千万円
国の補助金
- ▶ **県支出金** 6億3千万円
県の補助金
- ▶ **地方消費税交付金** 6億6千万円
消費税の一部が町に戻ってくる
- ▶ **町債(借入金)** 11億3千万円
町の借金(将来返済するお金)
- ▶ **繰越金** 7億4千万円
昨年度からの繰り越し金
- ▶ **その他** 20億円
寄付金(ふるさと納税など)や雑収入

歳出

町のお金は 何に使われたの？ (主な事業)

- ▶ **福祉(民生費)** 33億9千万円
高齢者福祉、子育て、障がい者支援
- ▶ **役場運営(総務費+議会費)** 31億2千万円
役場の運営、人件費(うち議会費 1億3千万円)
- ▶ **教育** 14億4千万円
学校教育、給食、施設整備
- ▶ **暮らしと健康(衛生費)** 13億2千万円
ごみ処理、保健衛生、医療関連
- ▶ **道路・インフラ(土木費)** 10億円
道路改良、橋の補修、公園整備
- ▶ **産業・観光(農林水産業費+商工費)** 10億8千万円
農業林業支援、観光振興、中小企業支援
- ▶ **借金の返済(公債費)** 8億8千万円
過去の公共事業にかかる借金の返済
- ▶ **防災・消防(消防費+災害復旧費)** 4億円
消防団、防災倉庫、災害復旧

寄付金 5億5千万円
基金取り崩し 4億円



児童福祉 17億3千万円
保育園 9億6千万円
老人福祉 4億3千万円

小学校 3億3千万円
中学校 3億円
社会教育 4億円
(文化センター・博物館など)

そのお金で町がどう変わった？(主な重点施策) ▶ 詳細は次ページをご覧ください。



子育て・ 少子化対策

児童手当は町内の子ども延べ35,356人への支給など、親子の安心につながっています。



ゼロカーボン 推進

年間約1,154tのCO₂を削減見込み。これは約8万2千本の杉の木が1年間に吸収する量になります。



DX推進

町のデジタル基盤を整備し、行政効率化と町民サービス向上を推進しました。



防災・減災

毛布やマット、段ボールベッド、携帯トイレなどを備えました。



子育て・ 少子化対策



22億7,100万円

- ・人件費・光熱費など 17億3,800万円
 - ・児童手当支給(延べ35,356人) 4億1,324万円
 - ・発達支援・居場所づくり 4,111万円
 - ・子育て支援センター(駐車場整備) 3,437万円
 - ・保育園遊戯室空調機設置工事(上古田・三日町・長田) 3,322万円
 - ・病児・病後児保育事業(いちごハウス他) 2,084万円
 - ・出産・子育て応援ギフト(出産155人・子育て150人) 1,525万円
 - ・乳幼児おもつ用品等購入助成 924万円
 - ・在宅保育応援手当交付金(301人) 623万円
- など



ゼロカーボン 推進

11億円

- ・役場庁舎ソーラーカーポートなど 8億9,000万円
- ・中学校設計・施工工事 1億2,397万円
- ・工事CM業務委託料 1,045万円
- ・令和7年度施工CM業務委託料 2,347万円
- ・ながたの湯・夢まちラボPPA事業費 974万円
- ・啓発活動及び住民向け補助金 4,403万円

CM業務(コンストラクション・マネジメント)とは、建設工事を安全かつ効率的に進めるために、専門家が町の立場で計画から完成までを総合的に管理・調整する業務。



DX推進

7,400万円

- ・情報通信ネットワークシステム運用支援業務委託 1,369万円
- ・庁内関連機器・ソフトウェア保守業務委託 805万円
- ・情報通信機器保守業務委託 610万円
- ・HADO開催業務委託 121万円
- ・保健センターWi-Fi設置業務 78万円
- ・デジタル人材育成業務委託 77万円
- ・キャッシュレス環境構築業務委託 36万円
- ・その他負担金、リース料など 4,304万円



防災・減災

4億2,700万円

- ・広域防災費(消防事業広域負担金) 2億6,000万円
- ・消防団運営費 6,089万円
- ・消防施設費(消火栓・防火水槽整備費) 4,066万円
- ・災害備蓄品(毛布・簡易ベッドなど) 1,114万円
- ・防災行政無線保守 572万円
- ・ハザードマップ更新 312万円
- ・自主防災組織育成補助 148万円
- ・みのわBASE維持管理 1,827万円
- ・みのわBASEカフェ運営 418万円
- ・木造住宅耐震改修 265万円



監査委員の コメント

令和6年度決算は、歳入歳出の執行や資金運用・財産管理は適正で、健全な財政運営と評価。不用額縮減や老朽施設対応、自主財源確保と行政改革の推進が今後の課題です。

令和6年度決算に対する 議員の視点

町の予算が目的どおりに、効果的に使われたのか。
議員それぞれの視点で審議し、質問しました。

歳入が見込みを
下回ったのは
想定が甘かったのでは？



定額減税の影響で個人
町民税が大幅減。

また法人町民税も物価高騰や
世界情勢の不安定さで減収と
なった。予測は困難だったが、
今後も国の制度や経済動向を
踏まえて慎重に見積もる。

基金の取り崩しが続き、
財政健全性に課題が
あるのでは？



単年度収支は赤字であ
り、財政調整基金を1億円
取り崩した。今後は不用額を減ら
し、基金依存を抑えて健全性を
確保する必要があると認識して
いる。

不用額が多い事業もあり、
予算執行の精度に
問題は？



予算編成時の見積もりの
甘さは課題。年度途中で
不用が明らかな場合は減額補正
を機動的に行い、執行精度を高
めたい。

ふるさと納税が
1億1千万円的大幅減少。
その要因は？



全国的な競争激化、返礼
品が天候や虫の被害で不
足したことなどが要因と分析。
改めて戦略の立
て直しを図る。



委託や随意契約が多いが、妥当性は？

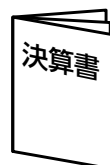


専門性が必要なため随意契約となる場合もあ
るが、可能な限り競争性を確保し、契約事務
の適正化に努める。

決算書がわかりづらい



各課で資料が異なる。帳簿その
ままの様式を統一して出すこと
でわかりやすくしたい。



人口減少対策の効果は
十分か？



子育て・教育関連予算を拡充
しているが、人口減少の大き
な流れを止めるのは難しい。

支援策を組み合わせ、将来世代の定
住につなげたい。



防災事業が増加、
財政負担とのバランスは？



能登半島地震を受けて、
当初計画以上の防災事業
を実施した。

安全・安心を優先する一方で、
財政負担のバランスは引き続き
検討が必要。



9月定例会でこんなことが決まりました

■会期：9月1日(月)～16日(火) ■議案：18議案 ■7月臨時議会(議案：4議案)

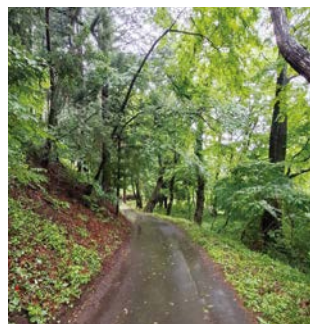


**補正
予算**

交通安全 対策費・ 工事請負費

八乙女水路橋迂回
路の防犯外灯設置
と反射鏡設置工事

370万円



設置工事予定の迂回路

**補正
予算**

老人福祉施設入所措置費

みずす夢ゆりの里、
措置者が増えたため

9,647万円



**補正
予算**

松くい虫被害木 伐倒駆除 業務委託料

県の森林病虫害等
防除事業補助が内
示より増えたため
1,644万円で執行

2,330万円



くん蒸中の被害松

**補正
予算**

災害復旧費

8月豪雨災害による
路肩崩落など
復旧工事
福与(旧JA支所)
三日町(大阪井水路)
長岡(白沢水路)
など14カ所

1,700万円



福与(旧JA支所)

**補正
予算**

高齢者新型コロナワクチン 個別接種委託料

国の補助廃止により町負担に。
接種対象者(65歳以上等)の
補助

1,067万円



**補正
予算**

中学校部活動 大会出場補助金

部活動県大会、
北信越大会出場部
への補助金

164万円



**補正
予算**

町税過誤納還付金

過払い分町税の払い戻し

800万円

**補正
予算**

地域クラブ活動支援業務委託料

部活動を地域へ展開(移行)する
ための支援業務を外部へ委託

769万円

7月臨時議会

**補正
予算**

福祉石油券交付事業費

住民税が非課税で70歳以上の
高齢者のみ世帯、一人親世帯
などに1万円分を支給する。
対象は1,400世帯を予定

1,466万円



**補正
予算**

災害復旧費

7月大雨被害復旧のための重機
賃貸料など
福与(旧JA支所、卯の木、判の木)
木下(油が沢)・南小河内(上ノ平)

1,000万円



**財産
取得**

避難所用 パーティション等購入費

契約者 晴海産業㈱(南箕輪村)
災害時に避難所で使用する
パーティション1,550基、
折りたたみベッド1,350基購入

3,180万円



人事案件

町監査委員

松本豊實さんの任期満了に伴い、中村和年さんを選任。

人権擁護委員の推薦

12月末で任期満了を迎える原宏さんと柴優子さんを再任。
任期は来年1月1日から3年間。

教育委員

中澤利枝さんの任期満了に伴い、山崎絵美さんを任命。
任期は11月26日から4年間。



松本 豊實 氏



中村 和年 氏

両監査委員コメント

○3期12年間、監査委員として、緊張感を持って町の財政運営を見つめることができ、大変有意義な期間でありました。

○決算審査だけでなく行政の効率化も含め、町民の代表として公正で明確な監査を行い、安全で安心して暮らせる町を目指します。

初 連合審査「選択的夫婦別姓制度」

6月定例会から継続審査となっていた意見書について、箕輪町議会では初めてとなる「連合審査」が行われました。今回の意見書の審査所管は総務産業委員会でしたが、改姓する多くが女性であることから、より幅広い女性の視点で議論するため、女性議員3名が所属する福祉文教常任委員会が加わり合同で審査を行いました。



連合審査とは

通常、議案審査は付託された委員会で行います。内容が両所管に関わっていたり、一方の委員会では不十分と判断される場合に、合同で行うことで議論を深めて審査する方法。

意見書

「選択的夫婦別姓制度の早期実現を求める意見書」の提出について

提出者 岡田建二郎



早期実現の妥当性

賛成派 国会で28年ぶりに審議された。これまで多くの人々が実現を望んできた。

反対派 議論はまだ不十分であり、慎重な検討が必要。

子どもへの影響

子どもの姓が親と異なること

賛成派 欧米では問題になっていない。親が十分に話し合い、子どもに説明することが重要。

反対派 親の選択によって子どもに姓が強制される。議論が尽くされていない。

文化・制度との整合性

賛成派 女性参政権の歴史のように、社会は変化していくもの。これは人権問題。

反対派 日本の家族制度や戸籍制度、墓の習慣といった文化を変更するのは慎重にすべき。

現行制度の柔軟性

賛成派 仕事で旧姓を使い続けることには不利益になると感じる人が多い。

反対派 ビジネスなど特定の場面で旧姓の使用は認められている。困ったことはない。

社会的コスト

賛成派 コストはかかるものの、個人の人権や幸福を追求するための正当な投資である。

反対派 行政手続き、戸籍・住民票システムの改修にかかる莫大なコストを少数派のために投入することへの疑問がある。

現行戸籍制度

賛成派 夫婦別姓でないのは日本だけ。

反対派 日本の戸籍の優秀さは世界一と言われ、他の国に合わせる必要はない。

平出 広志	荻原 省三	金澤 幸宣	白鳥 真吾	中野 友美	上田 学	岡田建二郎	小口 智世	南 朋子	寺平 秀行	北野めぐみ	中澤 清明	中村 政義	小出嶋文雄	入杉百合子	結果
×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	×	×	×	-	否決

○：意見書の提出に賛成 ×：提出に反対



連合審査の様子

総務
産業

令和6年度 箕輪町一般会計歳入歳出決算認定

■みのわBASE

Q 工事請負費・備品購入費・繰越明許費3,600万円に対し不用額2,000万円は大きすぎる。積算（工事見積もり）の精度はどうなのか。



A 物価高騰などの価格変動と、備品などの必要数が読めず、大きく繰り越したため。



くりこしめいきよひ
繰越明許費 ▶ 年度内に支出を終えられない予算を、議会の議決を経て翌年度に繰り越す制度。

■情報通信センター

Q 工事請負費で繰り越し明許費9,300万円に対し、決算額は3,900万円。不用額の内容は。

A ゼロカーボン事業で、改修に地中熱システム導入を予定したが、高額のため仕様変更した。

■町税過誤納還付金

Q 法人町民税を還付した1,677万円の件数と要因は。

A 73件。景気が良く収益増が見込まれると、翌年分の法人税が前納される。物価高騰などの影響を受け見込みよりも収益が減り、前倒して納めた町民法人税の還付が発生した。

■ながた自然公園

Q 土地賃借料は約430万円。山林の中でこの価格は高すぎるのでは。

A 今期、地権者の同意を得て価格見直しを行う。



■サテライトオフィス夢まちLabo

Q 施設維持管理等業務委託費613万円。利活用促進事業費550万円。委託費が妥当かの確認は。

A KPI（目標を達成するために、進捗や達成度を定量的に測定する「重要業績評価指標」）を設定して、利用者数などの成果を見ている。

■町単独道路改良事業費

Q 予算1億2,965万円が8,700万円になるなど**不用額**が大きい要因は。

A 2,300万円は翌年へ繰り越した。5,000万円は、木下町道8号線の改良工事に交差点改良が追加され再設計が必要となったため、改めて令和7年度で予算計上した。



ふようがく
不用額 ▶ 予算として計上した経費のうち、結果的に使用されなかった額のこと。当初の予算よりも実際に事業にかかった費用が少なかった場合や、事業を執行しなかった場合などに発生する。

現地確認

9月10日(水)

総務産業

- ・役場裏駐車場V2X
- ・ながた自然公園

- ・農業支援（高所作業車、ハウスカーテン）
- ・みのわBASE
- ・豪雨災害復旧現場

福祉文教

- ・木下駅トイレ・防犯カメラ
- ・大原合葬墓地

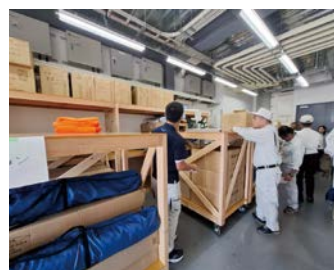
- ・西小学校、通学路改修工事（桜の木伐採箇所）
- ・博物館倉庫（旧中原下水処理場）
- ・図書館雨漏り箇所



役場庁舎裏V2Xシステム



農業支援（ハウスカーテン）



みのわBASE（防災倉庫）



箕輪町図書館

福祉文教 令和6年度
箕輪町一般会計歳入歳出決算認定

■くらしの安全安心関連

- Q** まちなかタクシー利用者の分析は。
- A** 登録数は横ばい、中心部の利用者が多い。
東西部地域はみのちゃんバスの利用者が多い。
タクシー台数や運転手の数、財政面が厳しく、
公平性からタクシー利用の回数制限を設けた。



**議員の
視点**

まちなかタクシーの導入による、みの
ちゃんバスの利用者は、町の想定ほ
ど減らなかった。バスとタクシーは
利用者層が異なりどちらも必要。
町民の要望に応える公共交通のあ
り方を検討していく必要がある。

- Q** セーフコミュニティ活動補助金(58万円)を受け
ている区が限定的、公平性に問題は。
- A** 組織で活動している区への補助金になるため、
周知し、活動が停滞していかないようにしたい。

- Q** 生ゴミ処理機の補助金は増えているか。
- A** 28件で昨年比14件増。可燃ごみを減らすため、
コンポスト型「キエーロ」のワークショップを開
催し、感想等を町のホーム



ページに掲載する予定。

■福祉・子育て・教育関連

- Q** 個別避難計画の策定状況は。
- A** 福与・三日町・富田・中曽根・上古田の土砂災
害警戒地域で策定。令和7年度は、下古田、小
河内地区を予定。
- Q** こどもの居場所拠点事業委託(2団体529万円)
利用人数は。
- A** 「だん暖」の利用者数は1日平均6.8人、「みな
なな基地」の利用者数は1日平均5.1人、イベン
ト等217人を合わせ、延べ1,197人の利用があ
った。
- Q** 学校教育課の委託料(5,128万円)のうち、その
他業務委託料(1,743万円)の内容は。
- A** ICT関係機器更新、ネットワーク保守、Web
フィルタリング業務等。



福祉文教 令和6年度箕輪町国民健康保険
特別会計決算(第2号)

- Q** 一人当たりの医療費、前年比約9,000円増の要因は。
- A** 国保加入者の減少が考えられる。分析による疾病
の傾向は不明。

福祉文教 令和6年度箕輪町一般会計補正予算
(第4号)

- Q** 財源が国から町になる新型コロナワクチン接種料
(1,067万円)で、健康被害が出た場合の責任は。
- A** 予防接種法により、100%国の責任。

福祉文教 令和6年度箕輪町介護保険
特別会計決算(第12号)

- Q** 介護認定調査委託料について。
- A** 職員が退職し、認定事業所を立ち上げるため委託
する予定。

ココに注目!

- Q** 基金4,000万円の取り崩しと、将来設計について。
- A** 基金2億円を超えている。保険料を値上げしないた
め基金を取り崩した。予想は難しいが、1億6千万円
をベースで残しながら運営する。

区長会と 意見交換会

令和7年8月5日(火)
役場3階講堂



町内15区長と議員が班に分かれて話し合いました。付箋を使いながら自由に意見を出し合い、立場を越えて率直な考えを共有する場となりました。

テーマ1

これからの自治体のあり方

テーマ2

これからの地域づくりをどう若い世代へつないでいくか

1 区役・機能の見直し

- ・ 役員の成り手不足が深刻
- ・ 区の仕事が多すぎる、役場からの依頼を整理すべき
- ・ 常会未加入者や高齢者脱会の増加が課題
- ・ 区の合併も検討すべきだが一筋縄ではいかない

2 住民参加・加入促進

- ・ 常会未加入者は意見交換の場がない
- ・ ごみステーションや防災など課題は役場窓口で対応すべき
- ・ 役場がもっと加入を働きかける必要がある
- ・ 移住者にはオープンマインドでアプローチしている区の事例あり

3 区長・役員体制

- ・ 区長の任期が1年では課題把握から解決にまで至らない
- ・ 区に「活性化委員会」があり、住民アンケートを実施している事例も
- ・ 毎年世帯構成員名簿を提出して人員構成を把握する取り組みもある

4 女性・若者の参画

- ・ 女性を区議会に入れる発想がなかった、名簿に女性を入れていない
- ・ 特別視せず、積極的に登用すべき
- ・ 区議になることについて女性から意見を聞く場が必要
- ・ 若い世代に声をかけて役員にしている事例も

5 議会・行政との関わり

- ・ 議会とは町全体の視点で、町民から直接言いづらい課題を取り上げる役割がある
- ・ 区長・区議から吸い上げられた課題を町政にどう反映していくかが重要

意見交換会を開催して

特に印象に残ったのは、区長の仕事の重さと役員のなり手不足の深刻さです。地域を支える力が弱まっている現状をどう補い、町としてどう支えていくかが大きな課題だと感じました。また、常会に加入していない方々との関わり方は、今後ますます重要になるテーマです。

議会活性化委員長 上田 学

テーマ1

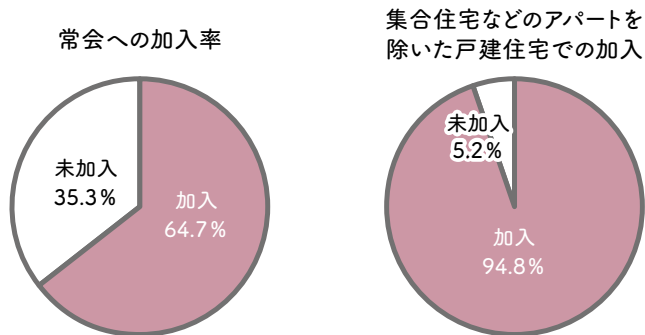
これからの自治体のあり方

テーマ2

これからの地域づくりをどう若い世代へつないでいくか

増える未加入世帯 不足する担い手 区と常会 自治は 成り立つのか

「区長会と意見交換会」のなかで、共通の課題としてあげられた「未加入世帯増加・役員の担い手不足・区費・常会費・地区分担金」。
議員の質問と町の答弁から、解決策の糸口はみえるのか。



令和6年4月時点

1 役割と未加入世帯について

Q 町は未加入世帯への対応についてどう進めている？

A 町は加入を強制できないが、新たに移住した方へ加入を促している。自治会の役割は町の下請け的なものではないし、町が代替する考えもない。

2 費用の地域差

Q 区や常会の加入費に地域差がある。高額で加入できない世帯も。このことについてどう考えている？

A それぞれの区や常会の活動内容や規模によって異なり、町が一律に統一できない。町は各区への支援を通じて負担を軽減している。地域間で大きな差が出ないように、区同士で工夫や横の連携をするべき。

3 区の分担金

Q 道路や水路などの土木事業について、町の予算は、区の要望に対して35～60%未満という低い予算化の状況。実施するには区の分担金があり、工事が進まない。
小さな区では、区議自ら作業するケースもあり、事故の危険も伴う。近隣では100%自治体負担で整備が行われている市町村がある。
箕輪町は7割以上の町道で区が費用を負担している。

A 区民が地域の工事に参加することは評価している。分担金制度は過去からの仕組みで、一定額の区負担と活性化事業交付金で対応している。分担金により、各区の希望箇所を優先して実施できる利点もあり、現状はやむを得ない措置。

役場／住民税務課の窓口でもらうことができる冊子。
費用や役員、行事などの情報が書かれている。

自治会のこれからは私たち一人ひとりが考える

自治会(区・常会)は、環境整備(ごみステーション設置・維持など)、子ども会や敬老会、お祭りなど、地域を支える活動を担っている。これは区費や常会費で運営し、住民同士の協力で成り立つ。しかし未加入世帯であってもこの恩恵を受けている。役員の担い手不足も深刻。これからの子どもたちへつなぐ、地域の支え合いをどう守っていくのか——
今、わたしたち一人ひとりに問われている。



「ながたの湯」 事業報告



入場者数や売上があがっても、利益が伸びない！

物価やエネルギー高騰など経営環境は逆風
にあり、経営努力の成果が簡単に奪い去られ
る現状がある。

2025年3月末に湯ポンプ故障が発生し、
4/13～16まで営業を休止して、ポンプシス
テム交換工事を行った。予備のポンプを使っ
て更新したため、次に故障したら影響が大き
い。予備ポンプを持つ必要性について、議員
が質問し、株式会社みのわ振興公社※の財政
状況をみて検討するという答弁を受けている。

※株式会社みのわ振興公社は行政と民間企業が共同
で出資して設立する法人（第3セクター）で、町から
指定管理を受けて経営している。代表者は町長。



	2024年	2025年	対前年比
入場者数	20万7千人	22万1千人	106.40%
売店売上	1,568万1千円	1,834万6千円	117.00%
食堂売上	3,329万円	3,653万4千円	109.74%

	2024年	2025年	対前年比
営業収入	1億4,316万5千円	1億5,253万5千円	106.55%
営業経費	1億4,041万5千円	1億4,986万4千円	106.73%
営業外収入	8万4千円	8万6千円	102.18%
経常利益	283万4千円	275万7千円	97.30%

全部門(ながた荘・ながたの湯・ながた自然公園・
萱野高原信州かやのキャンプ場)

営業収入は前年度比 110.12%

経常利益は前年度比 54.91%と減少



知ってる？

みのわまちのいいところ

箕輪町のいいところ、があったら教えてね。
✉ gikai@town.minowa.lg.jp

ながたの湯

ながたの湯は、泉質の良さから近隣市町村から訪れる
人も多い、町自慢の温泉。

pH7.9の弱アルカリ性、ナトリウム－炭酸水素塩泉は、
温泉に足を入れるととろとろで、まるで化粧水に入ったか
のようにすべすべになる、まさに「美人の湯」だ。泉温も
45.5℃あり、加温の必要がないほど。

今回注目したのは、ながたの湯の売上に貢献する従業
員の皆さんのがんばり。

スタッフによる、意匠を凝らしたたくさんの企画。毎月
15日の「ながたの日」には、お得な回数券の販売に合わせ、

くじ引きやイベントなどで一日中、駐車場がいっぱいにな
り他県ナンバーの車も並ぶ。

売店の場作りや、商品も頻繁に変えられ飽きることがな
い。店内外には季節に合わせたディスプレイも来る人たち
を楽しませてくれている。

外回りの花壇には、いつ訪れてもきれいな花が咲いて
いて、町のボランティアグループとスタッフで手入れして
いるそう。

町の施設のにぎわいは、スタッフの皆さんのアイデアと
心配りに支えられている。“働く人”こそがこのいいところ
だ。



箕輪町にあったもうひとつの秘湯!?

かつて、三日町に温泉が掘られお湯が出ていた。それは「浅川温泉」と呼ばれ、ゆとり荘やみのわ園
でも使われていたそう。町の西側のみならず、東側にも
温泉が湧いていたとは。

町の地下に眠る資源、今後の再稼働やエネルギー利用
の可能性も秘めているかも。



町政の
ここが
聞きたい！

一般質問

議員13人が町に
質問・提案しました。

一般質問とは

一般質問は、議員が町の行政について自由に質問できる場です。行政の仕事の内容や方針、問題点などを明らかにし、住民の声を反映させるために行われます。



質問順に掲載

主な質問	議員	ページ
100年先を見据えた未来像を行政計画に	上田 学	14
農業の担い手支援事業は	荻原 省三	14・15
今年の地震総合防災訓練の成果と課題は	北野めぐみ	15
令和6年度予算編成時の目的を発揮したか	金澤 幸宣	16
令和6年度決算についての自己評価は	平出 広志	16・17
人口減少による今後の財政運営の見通しは	寺平 秀行	17
戦争の記憶、教訓を次世代につなぐ…学校の役割は	中澤 清明	18
給食用米、箕輪町産で確保を	岡田建二郎	18・19
町の国民健康保険の加入状況は	中村 政義	19
経済支援にとどまらない子育て施策を	中野 友美	20
令和6年度決算の課題も含め総括は	小出嶋文雄	20・21
もみじ湖周辺の歴史を伝える取り組みを	白鳥 真吾	21
みのちゃんバスを“地域の足”に！	南 朋子	22

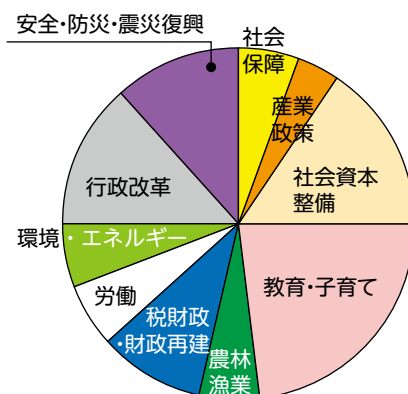
「あなたの関心事はどれ？」

9月議会の一般質問で、議員が取り上げたテーマを、分野ごとに可視化しました。

政策分野の内訳

質問件数(52件)

■ 社会保障……………3	■ 税財政・財政再建 ……5
■ 産業政策……………2	□ 労働……………3
■ 社会資本整備…………8	■ 環境・エネルギー ……3
■ 教育・子育て ……12	■ 行政・議会改革 ……7
■ 農林漁業……………3	■ 安全・防災・震災復興…6



議会を見にきませんか？

9月定例会
傍聴人数 **26** 人

議会の様子を実際に「傍聴」できます。

議員がどんな質問をして、行政がどのように答えているのか、住民の立場で確認できる貴重な機会です。

YouTubeで 配信しています



9月定例会
YouTube
閲覧数 **909** 再生

一般質問はYouTubeで配信しています。終了後もアーカイブで見ることができるので、都合のよい時間に議員の質問や町の答弁をチェックできます。

9月末現在



100年先を見据えた 未来像を行政計画に

町長 行政計画に位置付けるのは難しい



質問で話をした文献
出典：英治出版

当たり前ではない 豊かさについて

議員 都会への人口集中が進むと地方の自然や文化が失われる。箕輪町らしい100年先の未来像を町民と共有し、計画に位置づける考えはあるか。森林や水資源の循環は数十年から100年単位で影響が及ぶ。人口減少や高齢化は急には変わらない。教育文化の継承やインフラの耐用年数も長期的視点が不可欠である。

町長 行政計画は5～10年のスパンで策定するのが妥当であり、100年先を計画に組み込むのは難しい。時代の変化が急激であり、現実的には夢や希望の域にとどまる。ただし未来像を考えること自体は否定しない。町民と共有する議論は重要である。

議員 施策を数値目標だけで示すのでは町民には伝わりにくい。暮らしの物語として説明する工夫が必要ではないか。Apple社が製品に物語を込めて発信したように、まちの政策

う え だ ま な ぶ
上田 学 議員



も物語として語ることで町民が理解しやすくなる。

町長 ストーリーとして伝えることは受け手が理解しやすく有効である。行政の施策は専門用語が多く、分かりにくい面がある。キャッチコピーやイメージ図、子ども向けパンフレットなどで工夫を重ねてきた。十分ではないが、物語性を持たせる取り組みは必要である。

議員 森林や河川、地下水などを「自然資本」として評価し、地域内で資源や経済を循環させる指標を導入する考えはあるか。森林のCO₂吸収や景観、防災機能も含め、将来世代への負担を軽減する仕組みが求められる。

町長 自然資本や地域循環は持続可能な行政運営に欠かせない指標である。森林ビジョンにも長期的視点を取り入れた。経済的価値の可視化や評価方法の確立には課題が多く、計画全体を貫く形での導入は難しい。制度や技術の整備が進めば取り入れる余地はある。

議員 町民主体で長期的な未来を議論する「100年会議」を導入する考えはあるか。若い世代や多様な意見を取り入れ、孫やひ孫の世代を見据えたビジョンを共有する必要がある。

町長 未来を考える場は必要である。気候町民会議など町民参加の例もある。ただし行政計画に位置づけるのは難しく、合議体をつくっても議論で終わる懸念がある。方法を工夫する必要がある。

農業の 担い手支援事業は

町長 町単独で3つの
施策支援をする

議員 農業後継者問題は農家の努力だけに委ねるのではなく、町として真剣に考えるべきである。農業次世代人材支援事業補助金は、将来にわたり農地を活用する担い手を確保する事業である。この1年間の実施を踏まえ、町長の認識と課題を伺う。

町長 本事業は令和6年度に新設した町単独施策であり、兼業就農者、定年帰農者、雇用就農者を柱とする。申請は各1名だが、相談は多数あり特に兼業の相談が多い。課題は兼業の線引きの難しさ、機械を既に保有する帰農者への対応、研修離脱時の処理などである。制度趣旨に完全に合致しない事例も多く、今後議論を要すると考える。

雇用就農の課題

議員 雇用就農支援は50歳未満を対象とするが、若年層では理想と現実の差が大きい。年齢下限を設ける必要があったのでは。

町長 想定は30～40代の独立志向の就農希望者であり、若年層は十分に考慮していなかった。今後の課題としたい。

環境配慮型農業

議員 環境に優しい農業支援について伺う。町は独自に農産物認証制度を開始し、さらに生産者を増やすべきである。



町長 有機農業は国基準ではハードルが高く、当町では肥料3割削減で認証する制度を導入した。現状は生産者が少なく、堆肥利用や品目拡大、講習会を通じて普及を進めたい。

堆肥利用促進

議員 堆肥利用促進事業は化学肥料削減、土壌改良、地域循環に重要である。さらに継続と強化を求める。

町長 令和5年度は42名、6年度は33名が利用し、補助率を3分の1から2分の1に引き上げた。今年度はバイオ炭や緑肥も対象に追加した。家庭菜園を含め周知を進めたい。

公共宿泊施設課題

議員 ながた荘について伺う。築55年を経過し、近隣施設が閉鎖される中で独自の存在であるが、今後の展望は。

町長 ながた荘は料理面で評価を得ており、公社経営を支えている。しかし大規模改修から22年が経過し、不具合も増えている。建て替えは建設コスト高騰で困難であり、当面は現状維持としつつ、将来の公共宿のあり方を検討したい。

その他の質問

●松本食肉処理施設について

今年度の地震総合防災訓練の成果と課題は

町長 防災意識を高められた

議員 8月31日に行われた町の地震総合防災訓練の成果と課題は。

町長 役場における災害時の対応がどれだけできるか確認できた。また各区では基本的な訓練を繰り返すことで防災意識の高揚、また活動の練度を高めた。課題は残暑による体調不良の懸念から実施時期を考える必要があること、避難方法が区によって異なっており、ややマンネリ感があることが挙げられる。

議員 災害時、姉妹都市など町外からの避難者の受入れについて、空き家等の活用や、受入れ可能な住民の方を登録制にして準備しておくことはどうか。

町長 公営住宅や民間のアパート、福祉施設、また、民家や空き家についても可能かどうか検討したい。特に姉妹都市については、縁ある町として訪れやすいような手法、準備というのは必要だ。



地震総合防災訓練の土のう作り風景

身寄りのない高齢者の終活支援について

議員 この制度の利用者は自治体の協力葬儀社と生前契約をして費用を



預け、亡くなった後は自治体と協力葬儀社が連携して葬儀や納骨を行う「エンディングプラン・サポート事業」と、緊急連絡先やエンディングノートの保管場所、墓の所在地など必要な情報を自治体に登録する「終活情報登録伝達事業」というものがある。身寄りのない高齢者への支援として導入を検討してはどうか。

町長 万が一の場合に病院や消防、警察や福祉事務所などへ内容の開示ができるので、提案いただいた2つの事業の詳細について検討したい。また、もっと違った形のものがあるかどうか研究したい。

奨学金返還支援制度について

議員 長野県では従業員の奨学金返還支援を行う企業を応援する「奨学金返還支援制度導入企業サポート事業」制度を設けている。町の制度と併用できることを考えると、多くの中小企業の会社はこの制度の導入を願う。町として、各企業に制度の導入の提案をしてはどうか。

町長 当町の企業においても県の制度を、ぜひ活用していただきたい。補助対象の中に「職場いきいきアドバンスカンパニー」という認証制度があり、このハードルが高い。この点については考えていきたい。

令和6年度予算 編成時の目的を 発揮したか

町長 将来を見据えた事業は
当初予定どおり実施

議員 令和6年度予算編成時の目的
どおりに効果を発揮し、無駄なく住
民サービスに寄与したか、全体とし
ての町長の自己評価は。

町長 財政状況の課題はあるが、将
来を見据えた事業は当初予定したと
おり事業を進めたと思う。

議員 今回の決算課題を踏まえ、次
年度予算編成・中期財政計画にどう
つなげるか。

町長 将来予測をした財政シミュレー
ションを正確に出さなければいけな
い。歳入では徴税の状況、地方交
付税・寄付金等を正確に見極め、歳
出は、扶助費・職員人件費を見極め
た上で義務的経費が伸びる中で中期
財政見通しをし事業を考える。

議員 6年度は、人口減少・高齢化
対策の予算配分は妥当だったか。

町長 他の施策に比べ多くの予算配分
をしたのは事実。当町の人口減少率・
介護認定率については行政施策によ
る費用対効果・波及効果があった。

議員 決算の課題を今期（R7年後半）
に活かす迅速な対応は出来ているか。

町長 行政課題が複雑化し迅速な対
応が求められている。議会及び町民
からの要望事業を早期に入れて行く。

我が町の体験格差の実態は

議員 子どもの頃の体験機会格差が
後に大きく影響を及ぼす。町の体験機
会格差の実態把握はしているか。

教育長 調査すること自体が格差を

かなざわ ゆきのぶ
金澤 幸宣 議員



顕在化し助長するのでこれに特化し
た調査は行っていないが、問題にな
るような状況は把握していない。

議員 経済的要因による体験格差へ
の具体的施策は何かしているか。

教育長 様々な体験機会を提供できる
イベント・行事などの取り組みを実施。

各常会名簿の実態は把握は

議員 町内の各区・常会名簿(携帯電
話番号共有)の実態を把握し、区長
会等で論議されているか。

町長 区長会等で(名簿の)連絡先の
掌握がされているか情報交換する。

議員 各区・常会でかなりバラツキが
ある。防災・防犯という観点で連絡
網として十分機能するような方向性
を見出すべき。

町長 個人情報保護事項に該当する
か区長会で改めて確認する。

日曜日に選挙運動が 行える効果の論議を

議員 町内選挙に限り、全国に先駆
けて日曜日に選挙運動が行える論議
を進めてはどうか。

選挙管理委員長 日曜日に選挙運動
を行うことで多くの有権者に候補者
の声を届けられる。また、開票事務
に係る手間など経費縮減につなが
る。委員会の中で協議したい。

議員 投票終了時刻短縮、その後は。

選挙管理委員長 引き続き選管で検討。

令和6年度決算 についての 自己評価は

町長 黒字であるが実質
収支は赤字で厳しい状況

議員 課題と自己評価は。

町長 基金等の増減額を差し引いた実
質単年度収支はマイナス2億1千万円
余の赤字という厳しい状況。歳入が伸
び悩む中で事業が集中した面がある。

議員 結婚支援事業は相談件数312
件に対し成婚数が1件と厳しい結果
となっている。

町長 少子化対策の入口は結婚支援
であるが、行政として施策に入れ込む
ことには消極的になっている。

議員 都会と地方を結ぶ「関係人口」
の強化により、都会の若者が地方に興
味を持ち、結婚につながる事例もあ
る、様々な結婚に結びつく事業展開を
要望する。

工業団地計画の進捗は

議員 中断後の工業団地造成計画は
どこまで進んでいるのか。

町長 新たに、木下区一宮地籍で大
規模農道に接する約4.6haを候補地
として選定した。

議員 今後のスケジュールは？

町長 地権者の皆様へ売買価格等の
協議を行い、事業確定後、本年度中に
計画を策定し、令和8年度には県の同
意を得た後に用地買収、造成工事へ
と進める予定。

今夏の集中豪雨の被害と 対策について

議員 今夏、中心市街地である、八十二



銀行箕輪支店前から伊那松島駅周辺では集中豪雨により国道等が水であふれ、川のような状況であった。中心市街地がこのような状況になることは極めて遺憾である。原因究明と速やかな対策をすべきである。

町長 時間約80ミリの雨量により、横断側溝で受けきれなかった他、国道側溝が、あふれる状態となってしまった。雨水を国道153号線までの間で吸収する方法や中央都市下水への通水について等、研究して事業化をしたい。

全国学力テスト結果と読育について

議員 全国学力テスト結果では、数学の正答率が初めて5割を切り、国語の記述式問題では正答率が25.6%と学力の低下が課題となっている。箕輪町の状況は。

教育長 小学校は、全国平均を上回り、中学も同様の傾向である。質問調査では「自己肯定感」について小学生の8割が肯定的な回答をしており、勇気づけの言葉が効果として出てきている。

議員 読書量の多い児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。今後も読書環境の充実が必要と考えるが、方向性は。

教育長 読育の効果ができていると思う。朝読書や読育ボランティアの皆さんの読み聞かせなどで本の世界に没頭できることを大事に守っていく。

人口減少による今後の財政運営の見通しは

町長 財政シミュレーションを作成する

議員 将来負担比率の推移は。

町長 将来負担比率は借入残高を標準財政規模で割る指標で、令和2年度46.5%、3年度46.8%、繰上償還で4年度29.9%に下がったが大型建設による新規借入で5年度30.1%、6年度36.4%と上昇した。

議員 人口減少による財政への影響は。

町長 2030年 約2万3千人、2040年約2万1千人まで減少し税収減で標準財政規模が縮小し比率は上がる。人口減は比率を押し上げる。国の支援を注視し、今後10年シミュレーションを作成し対応策を検討する。

議員 大型事業やインフラ更新の財政への影響は。

町長 体育館耐震改修などで最大15億円借入見込みであり将来負担比率を押し上げるが、必要な事業は時期を逸せず実施し返済により比率は減少する。学校改築でも借入れがある。有利な起債や基金活用で抑制する。

議員 将来負担比率の適正水準と指標は。

町長 制度上の上限は収入の3.5倍であり36.4%は県内平均よりやや高いが許容範囲である。実質公債費比率を重視し行政サービスを守るため数値にとらわれず計画を進める。

議員 職員の意識改革と人材育成は。

町長 前例踏襲を改め事務事業の見直しや補助制度活用を進め、人口減に対応する行財政改革を担う人材育成が必要である。事務事業の縮小や廃止も検討する。



参院選投票率増の要因は

議員 参院選投票率が衆院選を上回った理由は。

選挙管理委員長 参院選は期日前投票が増え不在者投票も電子申請により増加したことが要因である。期日前投票は5,324人から6,243人に増え、不在者投票も増加した。若年層の投票率は低い改善傾向にある。

萱野高原の魅力発信策は

議員 萱野高原の魅力と情報発信は。

町長 伊那谷の眺望や山菜採り・キャンプが楽しめ市街地から近い。パンフレットやホームページに加えSNS活用を検討するが、山荘が閉鎖し道路が狭いため大量誘客は難しく慎重に進める。単発イベントの開催は検討できる。

高校再編と生徒流出問題は

議員 高校再編と生徒流出への認識は。

教育長 上伊那公立高には郡内中学生の約7割が進学するが地形や私立校不足から流出も多く流出超過が大きい。進学希望や技術習得、部活など多様なニーズがある。

町長 流出はやむを得ないが職業科充実など魅力ある学校づくりが必要で、県教委に定員確保と質向上を求める。地域の声を懇話会で反映させる。

戦争の記憶、教訓を次世代につなぐ…学校の役割は

教育長 平和学習の継続と人権教育の充実

議員 戦後80年の今年は戦争についての特別番組が多く報道された。戦争体験者がいなくなろうとしている今、戦争の記憶や教訓を次世代に継承することについての考えは。

教育長 紙や映像、史跡や文化財などの戦争の記録は引き継がれるが、体験者の話で伝えられる教訓は薄れて行ってしまう。今もウクライナなどの戦争で多くの命が奪われているが、どこか遠くのこのように自分事として考えられない現在の状況は大変危険。だからこそ戦争の記憶や教訓を次世代に残すことは意義が大きく、大切なことと思う。

議員 私には小学生の頃、担任の先生が戦争や民主主義について話してくれた記憶がある。現在学校では戦争や平和について教えているか。

教育長 学校では各教科や道徳の授業、特別活動などで様々な教育を継続してきている。例えば小学校の社会科では戦争と人々の暮らしや子どもの生活を切り口に学習を展開している。中学では戦没者家族の講話を毎年開催し、風化させない取り組みも継続している。

議員 上伊那の教育界では教え子を戦場や満蒙開拓団に送ることに加担した反省から、二度と教え子を戦場に送らないという誓いを立てたと聞いたが、今の先生にも受け継がれているか。

教育長 教師が教え子を戦場や満蒙開拓団に送った反省に立ち、少年の

なかざわ きよあき
中澤 清明 議員



塔慰霊祭を開き、若い先生にも呼びかけ、二度と教え子を戦場に送らない、同じ過ちを繰り返さないことを毎年誓っている。

議員 開戦や終戦、原爆や玉砕などの大きな出来事はテレビや報道、記念イベントなどで伝えられるが、地域や個人のこと、箕輪の暮らしや学校生活などはなかなか伝えられない。どう伝えるか。

教育長 地域で伝えることはとても大事。基本になるのは家庭だと思うが難しい状況になっている。博物館などで「太平洋戦争と箕輪」、「落原郷開拓団の記憶」、「戦後の一宮開拓」などの特別展を開催しているので家族で見て欲しい。

議員 戦争の記憶や教訓の継承で学校教育の果たすべき役割についてどう考えているのか。

教育長 学校教育の役割は1つは平和学習を継続すること、次に戦争についての会話をする場づくり、3つ目は戦争は最大の人権侵害であることを踏まえた人権教育の充実と考えている。「いけないことはいけないと言うこと」、「事実と向きあう大切さ」、「自分の思いをきちんと表現できる力」などを身につけさせたい。

その他の質問

- 人口減少を受け入れた町づくりを
- ゼロカーボンは世界の最新情報を収集し見直すべき
- 森林ビジョンのアクションプランに基づく各区有林整備を

給食用米、箕輪町産で確保を

町長 学校給食は来年度から100%町内産へ

議員 コメの地産地消、安定供給のためにも学校給食から箕輪町産を。

町長 価格面での課題はあるが、学校給食については来年度分から100%箕輪町産米を確保した。

議員 例年の2〜3倍の米価が続いている。子育て世代や困窮者への財政支援を。

町長 個々の家庭への支援は状況を見極めたい。子ども食堂やSOSネットへは支援を継続する。

議員 生活保護世帯にとって3倍近い値上がりは死活問題。政府へ保護費の底上げ要請を。

町長 10月から500円加算と聞いているが不十分。県・国へ働きかける。



収穫を待つ2025年産米

排外主義を乗り越えて、多文化共生の深化を

議員 7月の参院選では外国籍住民を標的にした排外主義が拡大した。多文化共生施策の一層の深化を。

町長 今回の選挙の結果は非常に残念。外国籍住民は地域で共に暮らす町民であり生活者と認識している。

議員 全国知事会は排他主義・排外主義の広がりを懸念して政府に提言している。町村会の対応は。



町長 国においては制度の整備や地方への財源確保など、共生に向けた支援をお願いしたい。

議員 小中学校にも多様なルーツを持つ児童生徒が在籍している。多文化共生への学びは。

教育長 世界各国の文化や習慣を共有することで、人権感覚を養う学びが深まっている。

契約事務や自営工事、 妥当性の確保は

議員 事業の特殊性による1社見積や随意契約の事業では競争原理が働かない。事業費の妥当性をどう確保するか。

町長 緊急性・特殊性が求められる事業は随意契約が選択される。設計書や仕様書の精査をはじめ、現場管理を徹底している。

議員 道路補修や倒木処理、草刈りなど役場職員が自営で行う業務の安全性の確保は。

町長 職員の求められる業務も多様化し、負担が増えていることも事実。安全性や仕上がりも考慮し、自営か業者発注かの線引きを改めて検証する。



職員の自営工事による倒木処理

町の国民健康保険 の加入状況は

町長 年齢構成が高くなっている状況

議員 町の国民健康保険の加入状況、高齢者比率・自営者の加入割合、及び近年の加入者の増減は。

町長 町の国民健康保険の加入者は8月31日現在で3,772人で、後期高齢者医療保険制度への移行などにより毎年減少傾向、年代別の被保険者の割合は、65歳から74歳が5割を占め年齢構成が高くなっている状況。

議員 箕輪町の国民健康保険料は上昇傾向にあるのか、未納世帯の増減は。

町長 国保税の税率の変更は平成30年以降はない。滞納者の状況は決算時点で令和5年度は172人、717件に対して、令和6年度は175人、860件。人数増加より件数増加が顕著。1人の滞納件数が増加、物価高騰による生活状況の影響が推測される。

議員 町の国保特別会計の現状と見通しは。長野県の全対象市町村一定化の動きに対しての対処は。

町長 令和6年度の決算は黒字、現在1億6,000万円ほどの基金を所持。医療費の動向を見極めながらの運営となる。将来的には同じ所得水準、同じ世帯構成であれば、県内どこに住んでいても同じ保険料になることを県は目指している。まず上伊那医療圏での統一を目指す。高額な医療費が生じた場合にリスク分散ができる仕組み。



現在箕輪町の 空き家の現状は

議員 現在町内には何件の空き家があるのか、内特定空家と判断されるものは何件あるのか。

町長 把握している空き家件数は、町全体で299件、特定空家は8件となっている。

議員 これまでの町の空き家対策は何か。空き家バンク登録状況は。

町長 町が状況を把握した上で、所有者に連絡。建物の補修等、適切な管理を依頼。空き家バンクの新規登録は、令和6年度は売買で30件、賃貸で3件。例年新規登録と成約のいずれも年25から30件程度。ある程度の成果は出ている。

小学校の現況は

議員 夏休み寺子屋教室の運営状況と今後の展開は。

教育長 14区で実施、参加者は延べ704名。昨年度を20名以上上回る。各区で子供たちが興味関心をもって学習や体験に取り組めるよう工夫している。

運営スタッフ、講師や会場、運営費用の確保など様々な課題を改善できるよう今後検討していきたい。

その他の質問

- ふるさとルームの活動状況は
- 幸田町との今後について

経済支援にとどまらない子育て施策を

町長 現状は難しいが賛同する

子育てに多様な選択肢を

議員 保育園を利用せず家庭で保育する保護者へ月額3,000円を支援する「在宅保育応援手当」の効果は。

町長 保育園へ通っていない家庭へも公平に支援するため創設。ニーズはあったと認識する。ただし、これは経済的支援であり、在宅保育を推奨するものではない。

議員 保育園支援が充実する一方、在宅保育を選ぶ家庭への支援も重要だ。本当は在宅で子育てをしたいと願う方も少なくない。雇用保障のない在宅保育者に対し、月3万円を支給するなど、より大胆な政策が必要だ。子育てを楽しめる心のゆとりが、次の命へつながり、町の力にもなる。この先、どのような‘まち・人づくり’を目指すのかという視点を子育て支援にも入れていくべき。

町長 意見には極めて賛同する。しかし、働く場所を求める声も理解できる。財政も踏まえた上で現在の金額となっているが、引き上げも検討の余地がある。

民間運営の子どもの居場所

議員 「こども計画」で子どもの居場所を13カ所に増やす目標を掲げているが、今後の推進方針は。

町長 子どもの居場所は、地域の皆さんが特技を活かし、民間の力で運営していくのが基本だ。誰もが気軽に利用

なかのともみ
中野 友美 議員



できる部分と、困難を抱えた子どもや家庭への相談機能を充実させた部分という二段階の仕組みで推進する。

議員 飯島町のように公益財団法人と連携する事例があるが、箕輪町では町内の民間応募が不採択となった。その確認書に「町から金銭的支援、人的支援を受けることはない」とあるが、その意図は。

教育長 応募には協力したつもり。事業の継続性を担保するため、町は支援しないという確認書を取り交わしたが、不採択の原因だと取られるのは心外だ。

議員 木下南保育園跡地の活用も日本財団の支援で町内の民間事業者が提案したが、町は断っている。委託事業がいつも決まった人や事業体になっていないか。

町長 今まで持っている機能や知っている人材だけでできるわけではない。新たに参入する皆さんもいる。今の委託方式は考えてみる必要がある。



民間運営の子どもの居場所

その他の質問

- 学校・保育園における「香害」の認識
- 養護学校に通う子どもたちの居場所がない現状と認識

令和6年度決算の課題も含め総括は

町長 基金の取り崩しをせざるを得なかった

町長 歳入が思ったほど伸びなかったことにより財政調整基金の取り崩しをせざるを得なかったのももう少し予算編成を厳しくすればよかった。こども子育て応援条例を策定し、妊娠、出産、子育て、保育、教育のレベルで他市町村に遜色ないそれ以上の事業化ができた。

防災を一つの起点に災害に対しての備蓄、避難所の質の向上、避難等の体制整備と住宅、上下水道に関する検討の着手ができたことである。

議員 決算を踏まえて現年予算の執行と令和8年度予算編成の考え方は。

町長 今年度の予算執行は、真に必要な事業かもう一度確認して執行をする。来年度の予算編成は、6年度決算を活かして、財源不足や財政の硬直化への備えを講じながら編成する。任期最後の当初予算であり、公約の実現と第5次振興計画の総仕上げを見据えた予算編成をしていきたい。

介護保険制度安定持続の考え方は

議員 介護保険サービスの提供体制に危機感があるという全国市町村長など首長に対する共同通信のアンケートの回答は。

町長 介護保険制度の継続に大いに危機感があり、制度の持続可能性に対し仕組みを検討する時期が来ている。要因として、高齢化に伴い介護

こ い で じ ま ふ み お
小出嶋 文雄 議員



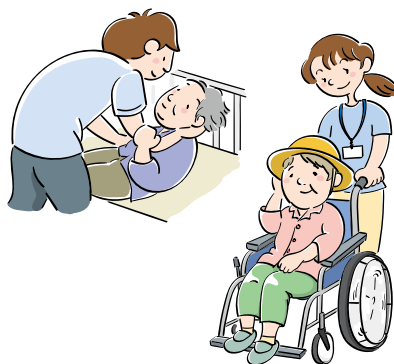
給付費の膨張と介護職員の賃上げが進まず人材不足が進むことの懸念と財源の確保が必要。

議員 町としての介護サービスの維持継続に対する考え方は。

町長 第9期の介護保険計画では保険料の値上げをせず、県下でも低いレベルにある。第10期に向けて、利用者増と介護内容が施設系サービスにシフトしている傾向にあり給付費の増加が予想される。高齢者が元気で過ごせる介護予防と地域で見守るケアする仕組みを進めないと介護保険料の値上げをせざるを得なくなる。

議員 町の具体的な対応は。

町長 地域での介護予防事業の推進、地域で見守るシステムの構築には地区社協の強化と民生委員さんの手当の改善も進めたい。訪問介護報酬の改善について国に強力に要請していく。



その他の質問

●保険証のマイナンバーカードへの移行について

もみじ湖周辺の 歴史を伝える 取り組みを

町長 歴史を伝えていく
必要はある

議員 箕輪ダムが完成してから30年以上が経過し、紅葉の時期を中心に多くの皆さんが訪れる地になった。この地に人の営みや伝統文化が息づいてきたことを忘れてはいけない。訪れた皆さんにも知っていただくことが大切である。紅葉の時期にはボランティアの皆さんを中心に現在の景勝地になったことを案内いただいている。地域の歴史を伝える案内看板があれば、どの時期に訪れても知っていただくことができる。歴史を伝える取り組みとして看板の設置を。

町長 もみじ湖の歴史を後世に伝えていく必要はある。観光客の皆さんが歴史を知ること、もみじ湖・紅葉に対する思いが変わってくるという話を聞いている。歴史を知らなかった皆さんがほとんどである。紅葉を楽しんでいただくということからも忘れることなく、もみじ湖のありようを伝えていきたいと考えている。



もみじ湖と箕輪ダム

自転車用ヘルメット 購入補助金について

議員 ヘルメットの着用義務化は自転車を利用する全ての方が対象。交通

しろとり しんご
白鳥 真吾 議員



事故だけではなく頭部を守る必要がある。県内では、全住民を対象に補助を行っている自治体がある。町でも現在の高校生年代から全町民を対象にした制度に変更を。

町長 対象者を誰にするかという議論は導入時に行い、高校生年代を対象にした。補助の金額が2,000円、3,000円というような少額補助を全町民対象にする必要はあまり感じないので、基本的には考えていない。

にじいろ学びステーションの 現状と課題は

議員 昨年度から多様な学びをつなぐプラットフォームの役割として、にじいろ学びステーション事業が開始され、専門的な職員である多様な学びの場コーディネーターが配置がされた。導入されてから1年半、現状と取り組みの中で見えてきた課題は。

教育長 学校からは「保護者とのつなぎ役になっていただけて大変ありがたい」、保護者からは「相談できる方が増えた」「親身になって相談にのってくれるのでありがたい」などの声がある。課題としては、個別の取り組みは充実してきたなという感じはあるが、外部機関や民間企業とのつなぎについては、状況の相違・関係性の差などから、なかなか進んでいない状況である。

みのちゃんバスを “地域の足”に!

町長 必要性は感じていない



議員 親世代から聞こえてくる一番の困り事は、子どもの送迎。働きながら学校や習い事の送迎のために、一日何往復するか分からない。バスダイヤの作成時から部活のない曜日が変更されており、実態と合っていない。中学の登下校に合わせたダイヤ見直しの考えは。

町長 一般の方の通勤・通学の利便性が優先。中学生に合わせたダイヤ改正をできる限りしていきたいと思うが、伊那本線との接続があり難しい。登下校を前提にするなら、スクールバスという選択になる。

議員 町民の声は、増便。中心地街の経済発展にもつながる夜間や、土日祝日の運行希望が最も多い。運転ができない高齢者にとっても自立した生活や免許返納にもつながる。より、住民の意見を取り入れた運行計画にする考えは。

町長 必要性の高いところから作ったコース、経費の問題もあり考えていない。

議員 みのわテラスの道の駅化に伴い、小回りのきくワゴン車の導入や、商工会や飲食店・塾などとの官民連携は。

町長 行政がやる必要性は感じていない。

みなみ とも こ
南 朋子 議員



議員 送迎のためにフルタイム勤務を諦めている女性もいる。国交省による調査では、女性は男性の8倍も家族の送迎をしている。送迎車の削減は環境負荷を減らし、ジェンダー格差解消にもなる。少子化・人口減少対策を進めるのであれば、多くの町民にとっての要望や利便性にもっと予算を割くべきと考えるが、実証実験としての可能性は。

町長 提案としては、受け入れる。

町道の整備を

議員 自転車でも安全に通うためには、フタのない側溝もあって危険な町道6号から整備が必要と考えるが。

建設課長 町道6号線と4号線の歩道整備を進めている。上が平らな状態で歩ける側溝を整備予定。

回覧板のデジタル化

議員 集合住宅に住む、地域に関わりたい気持ちのある常会非加入世帯に、回覧板が届いていない。回覧板のデジタル化、アプリの地域本棚などを取り入れる考えは。

魅力発信室長 データ化し、町ホームページへの掲載を検討したい。

その他の質問

- 給食室の環境は適切か
- ハザードマップ更新の周知
- 区や学校に限定しない情報発信を

議会活動日誌

活動の一部を紹介します

7月	1日	伊那中央行政組合臨時会
	4日	青少年の非行・被害防止全国強調月間該当啓発活動
	5日	社会を明るくする運動・青少年健全育成推進上伊那北部地区大会
	8日	山形村行政視察
	11日	交通安全人波作戦 南部国道連絡会
	14日	県道与地辰野線整備期成同盟会 県町村議会議員研修会
	16日	桑沢浄水用水施設監査・総会 総務産業常任委員会学習会 ■
8月	17日	伊北正副議長局長会
	18日	フェンシング全国大会実行委員会
	22日	福祉文教常任委員会 男女共同参画推進協議会
	4日	竜東線期成同盟会
	5日	区長会と議会の懇談会
	6日	民生委員推薦会
	7日	上伊那広域連合定例会議運
	12日	福祉有償輸送運営協議会
	15日	二十歳のつどい
	16日	こうた町夏まつり、箕輪町・幸田町交流会
9月	19日	男女共同参画推進協議会
	21日	上伊那広域連合8月定例会
	22日	議会運営委員会 箕輪町地区農政対策委員会総会
	23日	自衛隊協力会マレットゴルフ大会
	24日	幸田町幸風会行政視察
	25日	幸田町幸風会視察来町
	26日	代表監査委員辞令交付・感謝状交付
	27日	福祉文教常任委員会
	28日	全国町村議会広報研修会 ■ 福祉サービス苦情解決委員会 地域連携・協働フォーラム
	12日	第2回フェンシング全国大会・ 国スポ全国大会実行委員会
9月	14日	模擬火災訓練 みのわ太鼓 in みのわ記念公演 みのわ太鼓保存会45周年祝賀会
	17日	福祉文教委員会勉強会 ■
	19日	県議長会政務調査部会 交通安全人波作戦 幸田町姉妹都市協定締結式
	20日	町制発足70周年記念式典
	23日	町内一周駅伝大会表彰式
	24日	福祉文教常任委員会



町政発足70周年記念式典 9/20(土)

「都市計画・雨水排水計画」 の学習会

7/16(水)

66年前に決定された箕輪町都市計画は、バイパスの供用開始や地域要望の変化など、当初の計画通りには進まない現状を確認しました。また、雨水排水計画は財政的な負担が大きく、大幅な計画の見直しが求められている実態を共有しました。今後は学校等の改修も見込まれ、優先度を見極めた財政執行が不可欠との認識を新たにしました。

参加議員 岡田、中野、平出、金澤、上田、中澤



広報研修会

8/28(木)

全国から集まる広報研修会です。

- ①インタビュー記事を足して読まれる広報にしよう
- ②スマホを活用した撮影技術と動画作成
- ③議会活性化と連動した広報紙づくり

いずれも、住民の政治参加をうながす広報紙づくりの研修でした。箕輪町議会はモニター制度を開始し、改革を進めています。

参加議員 中野、上田、荻原、南、北野



人権研修 講師 南信教育事務所 南波秀治先生

9/17(水)

「子どもが幸せになるためのポイント」を学びました。子どもがランドセルを選ぶ動画の視聴では、無意識に子どもに親の考えを押しつけていることがたくさんあることがわかりました。日常生活の中に「人権問題」が多く含まれていることを知り、日頃から人権について考えていくことの大切さを感じました。

参加議員 入杉、金澤、白鳥、中野、岡田、小口南、寺平、北野、中村、小出嶋



町民の声

箕輪町議会では議会だよりのモニター制度を行っています。今回は93号に寄せられたご意見を紹介します。

- 事業に関すること
- 広報に関すること

特集「米事情」

- 米農家の視点が分かり理解が深まった
- 米不足がどう地域に影響するか知れた
- 現場の声をもっと紹介してほしい
- 写真やデータだけでなく体験談もあると良い



高校生議員との意見交換

- 若者の意見が新鮮で希望が持てる
- 町政に反映されることを期待したい
- 記事は新鮮で良かった
- 継続して取り上げてほしい



一般質問・議会報告

- 町民の声を代弁していて安心した
- 税や基金の話が理解できた
- 米や自治費の課題を町は先送りにしないで
- 答弁に「検討する」「考えていく」が多い
その後どうなったの？
- 整理されていて読みやすい
- 議員ごとにもまとめるとさらに分かりやすい

町の声・みのわまちのいいところ

- 地域資源をどう守るか考える
きっかけになった
- 住民の声をもっと載せてほしい



紙面全体

- 若い世代がどう関われるか考える
機会になった
- 町の課題を身近に感じた
- 文章量が減り、前よりスムーズに読めた
- カラーや写真を増やすとさらに良い

仕掛け人は町民 みんなのパワーが町を変える

自治チカラ Vol.7

「古田の里のそば処」

今年、20周年を迎えた赤そば祭り。毎年、祭りの開催に合わせて提供されてきた蕎麦。11時のそば処開店に合わせ、朝4時半から2時間半以上かけて、5人の地元衆と助っ人がそばを打っている。祭りの24日間にわたる連日の作業は、さながらフルマラソンのようだ。

そば粉はもちろん、上古田産のもの。ここでしか味わえない貴重な赤そば（高嶺ルビー）と白そば（信濃1号）は、どちらも二八の配分で打たれる。打つそばの量は、平日150食、土日祝日は180食ほど。ベテラン柴市雄さんの指導で腕を磨いた4人の唐澤さんたちが、毎朝2～3回は打つという。3年前よりも、細

く切れるようになったとおっしゃる方もいて、そば打ちの腕はまだまだ上達しているようだ。

昨年は、近くの山主より提供された木材を皆で切り出し、地元の大工さんと一緒に建てた立派なそば小屋も完成した。

そば処の運営は、唐澤栄子さんを中心に、ほぼ地元や町内から集まった10人以上のボランティアで店を切り盛りしている。その売上金のほとんどは、祭りの運営に回される。

美しい赤そばの里の風景を作るために、土壌整備から種まき、草刈りなど、花が咲き揃うまでの苦労も想像に難くないが、赤そば祭りを盛り上げ、来る人たちを喜ばせてくださるまでには、こうした皆さんの影のチカラが大きい。

「赤そばきれいだね、お蕎麦おいしいね」の裏側にある、人々がかけた時間（いのち）を知ると、赤そばの眺めも一段と感慨深いものとなった。



プチ情報

赤そばの種は「高嶺ルビー2011」として、タカノ株式会社と信州大学が共同開発し品種登録されている。よって毎年、町が種を購入しています。令和6年は187万円でした。



笑顔がすてきなスタッフの皆さん



そば打ち名人の柴市雄さん



立派なそば小屋



白そばおろし700円



町政にひとこと

- ・先のことは後の人に任せるが、少子化で町の維持は心配だね。（Sさん）
- ・何をやっているか、わかりづらいね。（Kさん）

次号ざかいだよりの話題

- 中学生模擬議会 10/29
- 各委員会行政視察 10・11月
- 臨時議会 11/18
- 定例会 12月
- 議会だよりモニター募集

などの内容をお伝えします。

〔議会広報特別委員会〕

中野 友美（委員長） 上田 学（副委員長）
荻原 省三 南 朋子 北野 めぐみ

議会事務局

電話 0265-79-3187(直)

ご意見・お問い合わせはコチラ▶



12月定例会の予定

12月1日(月)	開会
8日(月)	一般質問
9日(火)	一般質問
10日(水)～12日(金)	委員会審査
16日(火)	閉会

編集後記

決算特集号ということもあり、数字をどう分かりやすく町民の皆さんに伝えるかに苦心しました。お金の流れは一見難しく見えますが、「子育てや教育」「福祉」「道路や施設整備」など身近な暮らしにつながるものばかりです。作業の中で改めて、町のお金の使い道を議員自身が理解し、それを住民の皆さんに届けることの大切さを実感しました。

(上田 学)